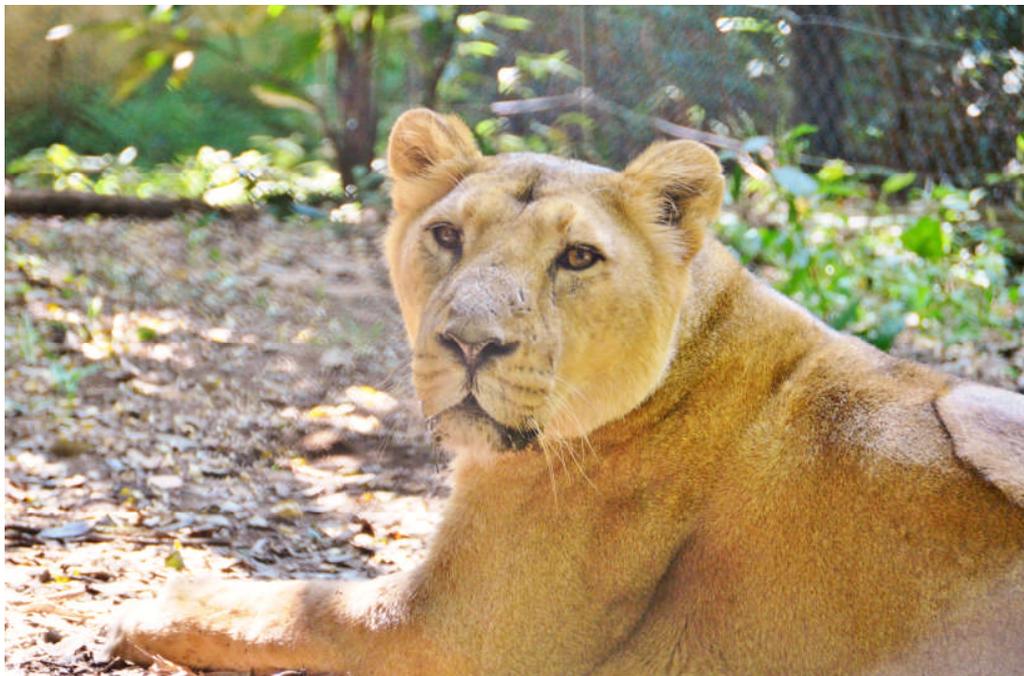


インドライオンの「サティ」が死亡しました



元気なころの「サティ」

よこはま動物園で飼育していたインドライオンの「サティ」が死亡しましたので、お知らせします。

○インドライオン「サティ」

- (1) 性 別 メス
- (2) 出 生 日 平成 12 年 6 月 3 日 (17 歳 9 か月)
- (3) 死亡日時 平成 30 年 3 月 12 日 (月) 午前 8 時 30 分死亡確認
- (4) 死 因 腎不全による衰弱
- (5) 経 過 2 月初旬頃から食欲が落ち、日中も寝ている時間が多くなっていました。
ここ数日は大好きな骨付き肉を給餌しても食べなくなり、衰弱が進み死亡しました。

● サティのプロフィール、エピソード

サティは、平成 12 年 6 月 3 日に当園で繁殖した個体です。オスのヨハンとメスのウーマとの間に生まれた 3 頭の姉妹のうちの 1 頭です。3 頭のリーダー的存在でした。閉園後にはいつも一番に展示場から寝室に帰ってきて、大好きな肉を食べる姿が印象的でした。

献花台について

平成 30 年 3 月 15 日 (木) ~ 3 月 25 日 (日) の期間、アマゾンセンター内に献花台を設置します。



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 渡辺 武志 Tel 045-959-1298

【参考資料】

インドライオンについて

和名	インドライオン
英名	Asian Lion
学名	<i>Panthera leo persica</i>
分類	食肉目 ネコ科
生態	インドにすむライオンの亜種で、アフリカのライオンと比べるとやや小柄で、概してたてがみが短く尻尾の房毛が長いといわれている。また、下腹部にひだ状の皮膚のたるみがあることも違いの一つといわれている。昆虫類から爬虫類、大型草食動物まで様々なものを食べる。かつては中近東からインドにかけて広く分布していたが、狩猟や開発による生息域の破壊によって、現在はインドのギル森林保護区を中心に数百頭が残されているだけになってしまった。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I 絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧 IB 類 (EN) 近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
国内飼育頭数	3 園館 6 頭 (オス 3 頭、メス 3 頭) ※平成 30 年 3 月 12 日現在
当園飼育頭数	3 頭 (オス 1 頭 メス 2 頭) ※今回死亡した個体は含まず

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）
- ◆休園日：毎週火曜日（祝日の場合は翌日） ※3/21（水・祝）～5/7（月）は無休
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000